

野依新池

(のよりしんいけ)



ため池の遠景



希少生物が生息するため池

ベッコウトンボ



ため池の概要

ため池の所在地

大分県中津市

ため池の特徴

野依新池は、中津市東部の自然豊かな農村部にある古くからのため池で、現在も約30haの水田を潤す貴重な水源となっています。

都市化による環境悪化の影響を受けておらず、良好な水環境が残され、多くの希少生物が生息しているこの池は、ベッコウトンボの数少ない繁殖地であり、またコバネアオイトンボ等同種約50種の生息が確認されています。

トンボの観察会が開催される時期には、市外からも多数の参加者が訪れます。

現在は、野依地区住民の方々や「大分トンボの会」、ボランティア等の協力により、トンボの産卵に必要な環境保全のために池や周辺の除草・清掃などの活動が行われており、この池が地域活性化の核ともなっています。

関連情報

環境省選定「日本の重要湿地500指定」

第14回全国トンボ市民サミット大分県中津大会(平成15年5月24日)

特定非営利活動法人 大分トンボの会 <http://www.h7.dion.ne.jp/~n-tombo/index.htm>